

共同研究「GBL研究会」2015年度活動報告

代表 圓 山 茂 夫

GBL研究会は、本学および本学法科大学院における共同研究参加者を中心に、他大学教員、弁護士（外国法弁護士も含む）、企業法務担当責任者、海外の教員も含め、年々その活動の範囲を広げている。

本研究会の目的は、グローバルな企業活動によって生じる様々な法的問題の分析や法制化の動きの調査等を中心とするものであるが、その研究領域は、いわゆる狭義の国際取引法の枠にとどまらず、グローバルビジネス活動に関連する国際環境法や知的財産権法を含め、最近の課題となっている国際税務問題や域外適用問題、およびグローバルコンプライアンス問題等の幅広い分野の課題に取り組んでいることが特色である。

本研究会の活動の中心である毎月の定例研究会では、各メンバーによる研究成果の発表や討議に加え、メンバー間での研究情報の交換など活発な研究活動を行っており、その研究結果については、一部ではあるが、これまでレクシスネクシス・ジャパン社発行の法律専門月刊誌「ビジネス・ロー・ジャーナル」や商事法務発行の「NBL」にも寄稿してきた。

また今年度は、富山市において、富山大学と共催で、2016年1月30日（土）～31日（日）の両日、「国際シンポジウム in 富山ー国際ビジネスの法的地平を臨む」を開催した。このシンポジウムには、北京人民大学法学院 楊東副院長や北京の丁恒弁護士、また台湾玄奘大学 黄瑞宜副教授の参加を得るとともに、富山地域の企業からも多くの参加者があった。このように、対外的な活動も活発に行ってきた。

2015年度の定例研究会の発表内容と活動内容は以下のとおりである。

第1回 定例研究会

日 時 4月25日(土) 14:30～17:30

場 所 明治学院大学高輪校舎202教室

発表者・内容

① 寺田 知洋 弁護士（日比谷中田法律事務所）

「金商法における、第一種業、投資運用業、投資助言葉の境界ーコピートレードを題材に、『投資助言』とは何かという問題について、『投資一任』『第一種業』との対比」

② 黄 瑞宜 先生（台湾・玄奘大学専任助理教授）

「台湾会社法における書面投票と動議に対する扱いー行政院經濟部が策定した『会社法部分条文の改正草案』を中心にー」

共同研究：GBL研究会

第2回 定例研究会

日 時 5月30日(土) 14:30~17:30

場 所 明治学院大学高輪校舎202教室

発表者・内容

- ① 岡本 直己 弁護士 (御堂筋法律事務所・神戸製鋼所法務部)
「最近の税務否認に関する裁判例と若干の国際比較」
- ② 久保田 隆 先生 (早稲田大学法科大学院教授)
「米国経済制裁法の域外適用と米ドル覇権」(専修ビジネスレビュー10巻1号75頁以下)

第3回 定例研究会

日 時 6月27日(土) 14:30~17:45

場 所 一橋大学国立東キャンパス・マーキュリーホール7階会議室

発表者・内容

- ① 小林 邦男 氏 (オイレス工業 法務室)
「契約書から見た、部品メーカーのグローバル化」
- ② 久保田 隆 先生 (早稲田大学法科大学院教授)
「世界金融危機後の英米コモドル 金融判例」
- ③ 杉江 武 氏 (神鋼商事法務審査部長)・阿部 博友先生 (一橋大学法科大学院教授)
「グローバルビジネスローの最前線」

第4回 定例研究会

日 時 7月25日(土) 14:30~17:30

場 所 筑波大学東京キャンパス文京校舎1階117講義室

発表者・内容

- ① 阿部 博友 先生 (一橋大学法科大学院教授)
「競争法違反者に対する損害賠償請求訴訟について—EU Damages Directiveを中心に—」
- ② 草野 考弘 氏 (日清製粉グループ本社 監査役付)
「株主総会の代理出席と定款規定再考 —グローバル時代の株主状況を踏まえて—」

第5回 定例研究会

日 時 9月26日(土) 14:30~17:30

場 所 明治学院大学高輪校舎201教室

発表者・内容

- ① 神山 智美 先生 (富山大学経済学部准教授)
「風車騒音の影響評価について」(富大経済論集61巻2号183頁以下)
- ② 小梁 吉章 先生 (広島大学法科大学院教授)
「ICSID仲裁に関するいくつかの論点」

第6回 定例研究会

日 時 10月31日(土) 13:30~17:00

場 所 明治学院大学高輪校舎202教室

発表者・発表内容

- ① 高橋 均 先生(獨協大学法科大学院教授)
「コーポレート・ガバナンスと会計監査人監査 ～実効性確保のための立法論的課題～」
- ② 高田 寛 先生(富山大学経済学部教授)
「特定電気通信役務提供者に対する発信者情報開示請求権の明白性の要件について」
(富大経済論集61巻2号133頁以下)

第7回 定例研究会

日 時 11月28日(土) ① 13:00~14:45、② 15:00~17:00

場 所 一橋大学国立東キャンパス・マーキュリーホール会議室

発表者・発表内容

- ① 渡辺 樹一 氏(ジャパンビジネスアシュアランス・早稲田大学非常勤講師)
「企業はなぜ不正会計に手を染めるのか」～日本企業において本当に機能するガバナンス運用体制とは～
- ② 河村 寛治 先生(明治学院大学法学部教授)
「BEPS (Base Erosion and Profit Shifting) に関するOECD行動計画について」(基本的知識の紹介のみ)

第8回 定例研究会

日 時 12月19日(土) 14:30~17:00

場 所 明治学院大学高輪校舎202教室

発表者・内容

- ① 遠藤 元一 弁護士(東京霞ヶ関法律事務所)
「ビットコインの現時点での問題点」
- ② 河村 寛治 先生(明治学院大学法学部教授)
「BEPS (Base Erosion and Profit Shifting) に関するOECD行動計画について」
(前回の継続)

第9回 2016年1月30日(土) 31日(日)「国際シンポジウム in 富山ー国際ビジネスの法的地平を臨む」
富山大学経済学部との共催によるシンポジウム。地元企業からも参加者多数あり。
その内容概要は、レクシスネクシス・ジャパン社のWEBジャーナル「BIZLAW」へ掲載された。

第10回 定例研究会

日 時 2月27日(土) 14:30~17:30

共同研究：GBL研究会

場 所 明治学院大学高輪校舎202教室

発表者・内容

- ① 能美 善行 氏（日系メーカー法務部）
「シンガポール契約法の展開と若干の比較法的検討—国際取引法務の観点から」
- ② 高木 慎一 氏（信成国際税理士法人代表社員）
「国際税務戦略とBEPS行動計画13の概要」

第11回 定例研究会

日 時 3月26日(土) 16:00～17:30

場 所 明治学院大学高輪校舎201教室

発表者・内容

- ① 高田 寛 先生（富山大学経済学部教授）
「生殖細胞系ゲノム編集の法規制について—デザイナーベビーの是非を中心に」

なお、本年度は、これまでのGBL研究会活動の中心となっている企業法務に関する研究成果を、井原宏・河村寛治編著『グローバルビジネスロー基礎研修 1 企業法編』（レクシスネクシス・ジャパン・2015年11月）として出版した。

（文責 河村 寛治）